



「見たり、聞いたり、探ったり」No.249

通算 No.401

青木行雄

時代を見つめて アメリカ新大統領、 ジョー・バイデン氏とカマラ・ハリス副大統領

2020年1月、中国武漢市より端を発し、世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染真只中の11月3日、世界中の感心をあつめた、アメリカ大統領選投票が始まり、11月8日の未明激戦後民主党候補の「ジョー・バイデン」氏が当選確実となった。

副大統領には「カマラ・ハリス」氏である。

この「ジョー・バイデン」新大統領と「カマラ・ハリス」氏はどんな人物なのか、大変関心のあるところである。少々詳しく記してみたい。

「ジョー・バイデン」新大統領について

- ①出身地 ペンシルベニア州。スクラントン。かつて炭鉱で栄えた街
- ②誕生日 1942年(昭和17年)11月20日(77歳)
- ③家族 ジル夫人、および死別した前妻との間に子供4人(うち2人死別)
- ④宗教 カトリック
- ⑤学歴 シラキュース大法科学院
- ⑥経歴 弁護士、上院議員、オバマ大統領時の副大統領〔2009(平成21年)～2017年(平成29年)〕
- ⑦趣味 車、愛車は1967年式「シボレー・コルベット・スティングレー」



77歳になる「ジョー・バイデン」氏の笑顔である



「カマラ・ハリス」氏新副大統領

※ジョー・バイデン氏の軌道

国政44年間、3度目の正直で達成

米大統領選で当選した民主党のジョー・バイデン前副大統領(77)は上院議員と副大統領を合わせて計44年の国政経験をもつ重鎮である。長い政治家人生で大統領選に1988年(昭和63年)、2008年(平成20年)と2回挑んだがいずれも敗退した。「三度目の正直」で超大国の最高司令官に史上最高齢で就任することになった。

「この選挙はスクラントン対パークアベニュー(ニューヨークの富裕層地区)の戦いだ」という。東部ペンシルベニア州の地方都市スクラントンで生まれた自分のルーツを大事にしてきた。石炭業が衰退して活気を失っていく労働者層の町で、ボイラー掃除など職を転々としながら生計を立てた父親の背中を見て育った。カトリックの家庭で、4人きょうだいの長男だった。

子どもの頃は吃音に悩まされ、自分の名前もうまく言えなかったらしい。周囲の人からかわれ、先生にまであだ名をつけられたが引っ込み思案ではなかったようだ。

ジョー少年は冒険が大好きで、どっちかというところ危なっかしい少年だった。立ち入り禁止だった炭鉱の山を何度も登ったりしていたという。

その後父親が中古車セールスマンに職を変え、徐々に生活が安定すると、バイデン氏は野球などに打ち込んだ。「ミドルクラス・ジョー」として中間層にアピールする原点は自らの生い立ちになるようだ。

ロースクールを出て弁護士事務所働き始めると共に自治体の政治活動にも携わるようになる。最初は支持する共和党有力者の弁護士事務所に入ったが、時のニクソン大統領(共和党)を嫌い、次第に民主党に傾いていく。

1972年(昭和47年)の上院議員選挙に民主党から担ぎ出され、共和党の現職議員を破って当選した。就任時は30歳と上院議員に就ける最も若い年齢だった。

議員生活は悲劇から始まった。議員就任直後、クリスマスの買い物に出かけた妻は交通事故で1歳の娘と共に亡くなった。就任を辞退しようと考えたが民主党幹部の説得を受ける、命を取り留めた息子が入院する病院で議員就任を宣誓した。シングルファーザーとして息子2人と暮らすため、自宅からワシントンの連邦議会議事堂まで片道1時間半かけて電車で通った。

議会では舌鋒(ぜっぽう)鋭く、外交で頭角を現したという。外交委員長や司法員長など主要ポストを歴任した。共和党の職員は「よく事務所に電話してくる、共和党議員とも家族ぐるみで付き合う超党派の人だった」という。2009年(平成21年)からはオバマ前大統領の右腕として8年間仕えた。長男ボー氏を脳腫瘍で46歳の若さで亡くし、2016年(平成28年)の大統領選は出馬を諦めたという。

上院議員、副大統領を務め幅広い人脈を持つバイデン氏は有力企業の幹部や著名人から多くの支援を受けている。



元アメリカ大統領「オバマ」氏の下で副大統領として支えた

金融業界ではヘッジ・ファンド、ルネサンス・テクノロジーズ創設者のジム・シモンズ氏が多額を献金している。また製薬会社メルク最高経営責任者 (CEO) のケネス・フレイジャー氏、動画配信大手ネットフリックスCEOのリード・ヘイスティングス氏他々の人々に献金や資金集めや協力を受けているようである。

また民主党の支持者が多いというハリウッドの映画業界も全面的に応援を受けた。資金調達イベントには俳優のレオナルド・ディカプリオさんも協力。ブラッド・ピット氏、トム・ハンクス氏の方々も尽力されたという。

音楽業界ではレディー・ガガさんやロック歌手ジョン・ボン・ジョヴィさんなども選挙イベントに参加し歌声を披露した。

バイデン氏史上最高齢の米大統領に
高年齢ランキング

就任年	名 前	就任時年齢
1 2021年 (令和3年)	ジョー・バイデン	78歳
2 2017年 (平成29年)	ドナルド・トランプ	70ㄴ
3 1981年 (昭和56年)	ロナルド・レーガン	69ㄴ
4 1841年 (天保12年)	ウィリアム・ハリソン	68ㄴ
5 1857年 (安政4年)	ジェームズ・ブキャナン	65ㄴ
6 1989年 (昭和64年)	ジョージ・ブッシュ	64ㄴ

次に「カマラ・ハリス」氏、副大統領について

- ①出身地 カリフォルニア州
- ②誕生日 1964年 (昭和39年) 10月20日 56歳
- ③家 族 ジャマイカ系の父とインド系の母を持つ移民2世、夫は弁護士
- ④宗 教 バプテスト
- ⑤学 歴 カルフォルニア大法科大学院
- ⑥経 歴 検察官、州司法長官、上院議員 [2017年 (平成29年) ~]
- ⑦趣 味 料理、スニーカーは「コンバース」愛用

※カマラ・ハリス氏のおいたち

黒人・女性として初の米副大統領に就くことになったカマラ・ハリス上院議員 (56才) は1964年 (昭和39年) カルフォルニア州でインド系移民の母親とジャマイカ系の父親の間に生まれた。母親はがん研究者、父親は経済学者で、黒人の権利向上を訴える活動家だった。ハリス氏も幼少から公民権運動に参加し社会変革に向けた運動に慣れ親しんだ。13歳のころにアパートの庭で遊ぶことを禁じるオーナーに対し妹のマヤさんと反対運動を起こし、禁止を解除させたことがある。

マイノリティーの権利向上に思いを強めたハリス氏だが、活動家は目指さなかった。権力側に立つこと

で米社会を変革できると考えたからだ。自叙伝『私たちの真実』ではその思いを「活動家たちが行進して家のドアをたたいたら家の中から迎える役目を果たしたいと思っていた」とつぶった。カリフォルニア大法科学院を修了し、「革新派検察官」の道を目指した。

2003年(平成15年)にサンフランシスコ地区の検察官に就いた。在任中に論争を呼んだのは警官を殺害した男性に死刑を求刑しなかった案件である。警官の葬儀に出ると、民主党の上院議員が「(事件は)死刑法が適用される特別な状況に該当する」とハリス氏を批判した。

2017年(平成29年)に上院議員に就くと検察官として培った論戦力を発揮したのである。

座右の銘は母親から学んだ「あなたが先駆者でもあなたが最後になってはならない」。

黒人女性の社会進出の象徴となったハリス氏だが、次世代の黒人女性の活躍を促すため構造的改革が必要との考えである。ハリス氏は午前6時に起床し、30分間の運動を日課にしている。料理好きで米メディアの料理コーナーからレシピを収集。友人らを自宅に招くとローストチキンを定番料理として振る舞うという。こんな「カマラ・ハリス」氏である。

この度、米大統領に当選確実になった11月7日夜(日本時間8日午前)デラウェア州ウィルミントンで迫力ある「ジョー・バイデン」氏の演説をNHKテレビで見聞きした。その時の様子を日経新聞から要点をまとめて記してみた。

米国民・デラウェアの皆様へ感謝に気持を表現し、大統領選で歴史上最も多く票を得た7,400万票であった。ほとぼしる希望と喜びを目にしていると力強く話した。そして、私に与えてくれた信頼と自信を謙虚に受け止め、分断させようとするのではなく、結束させる大統領になることを誓うと言った。

国民のための政権で、米国の魂を立て直し、米国の屋台骨を立直し、中間層を再構築し米国を世



2020年11月8日 勝利宣言の演説をする「ジョー・バイデン」氏



勝利宣言を祝う、左、カマラ・ハリス氏と右、ジョー・バイデン氏



勝利を祝って、デラウェア州ウィルミントンの街で祝う、花火と民衆

界から再び尊敬される国にするとはいえる。そして、素晴らしい副大統領になるカマラ・ハリスと働けることは光栄だし、彼女は女性かつ黒人で南アジアの祖先を持つ移民2世で初めて米国の国政選挙で選ばれ、米国は再び道徳の弧を正義の方向へと向けた。

新型コロナウイルスとの戦いの中で科学と希望の力を導くことを求め、ウイルスを制御し、繁栄を築き、国民と家族の健康を守るために戦うことを誓う。

この国の人種の平等を達成し、構造的な人種差別を根絶するために戦い、環境を守るために戦い、品位を回復し、民主主義を守り、この国のすべての人に公正な機会を与えるために戦う。私たちの仕事は新型コロナウイルスを制御することから始まる。

私は一流の科学者と専門家のグループを政権移行のアドバイザーとして指名し、「バイデン・ハリス計画」を作り、2021年1月20日から始める政策の青写真を描く。その計画は科学に基づいて作られ、思いやり、共感、そして懸命に配慮したものになる。パンデミックを好転させるための努力や責任を惜しまない。

私は誇り高き民主党員だが、米国の大統領として統治する、私は投票しなかった人々のためにも、私に投票した人々に対するのと同じように一生懸命働くつもりだ。

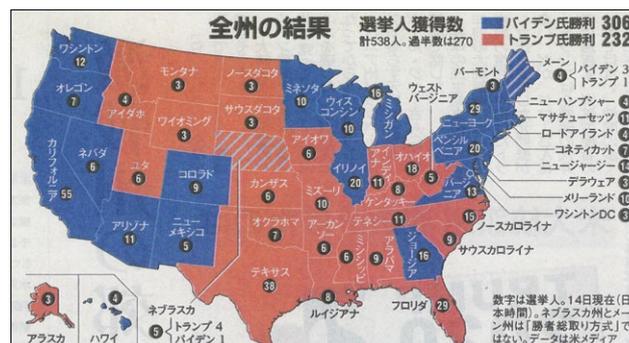
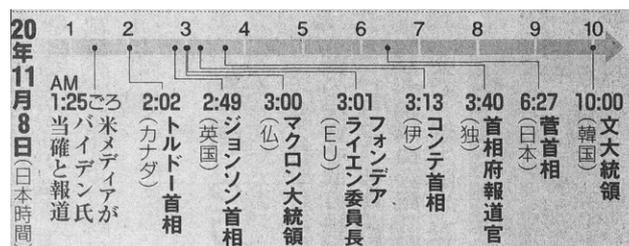
私たちは今、転換点に立っている。絶望に打ち勝ち、繁栄と目的のある国を築くチャンスがあり、それができると知っている。私たちは米国の魂を取り戻さなければならない。米国は天使と悪魔の絶え間ない戦いによって形作られてきた。全世界が米国に注目している。私たちが模範となって導かなければならない。

米国と互いを信じ、国への愛と正義への渴望を持って私たちが目指す国を作り上げよう。国は団結し、強くなり、癒やされる国に、神が私たちを守ってくださいますように。感謝。

以上がウィルミントンで勝利を宣言した演説の概要である。

2020年11月8日(日本時間)AM1.25分頃バイデン氏が当選確実を米CNNが一報を伝えた。

その直後から祝辞ツイートが世界から相次いだという。



出典：『朝日新聞』より

2020年11月8日(日本時間)

- 1 AM 1.25分 米メディアより
- 2 ♪ 2.02分 カナダトルドー首相より
- 3 ♪ 2.49分 英国ジョンソン首相より
- 4 ♪ 3.00分 フランスマクロン大統領より
- 5 ♪ 3.01分 EUフォンデア・ライエン委員長より
- 6 ♪ 3.13分 イタリアコンテ首相より
- 7 ♪ 3.40分 ドイツ首相府報道官より
- 8 ♪ 6.27分 日本菅首相より
- 9 ♪ 10.00分 韓国文大統領より

No2 カナダ・トルドー首相

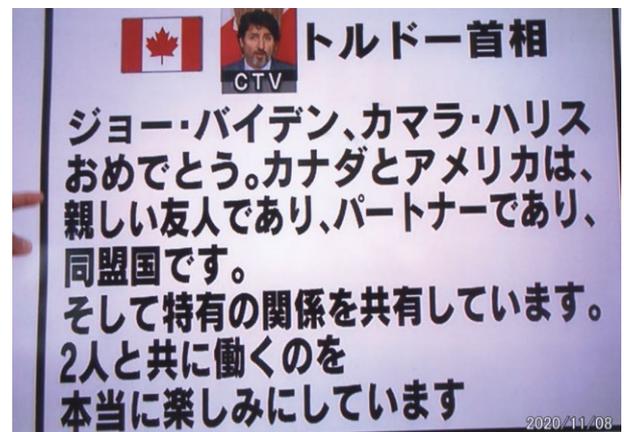
※ジョー・バイデン、カマラ・ハリスおめでとう。カナダとアメリカは、親しい友人であり、パートナーであり同盟国です。そして特有の関係を共有しています。2人と共に働くのを本当に楽しみにしています。

No3 英国・ジョンソン首相

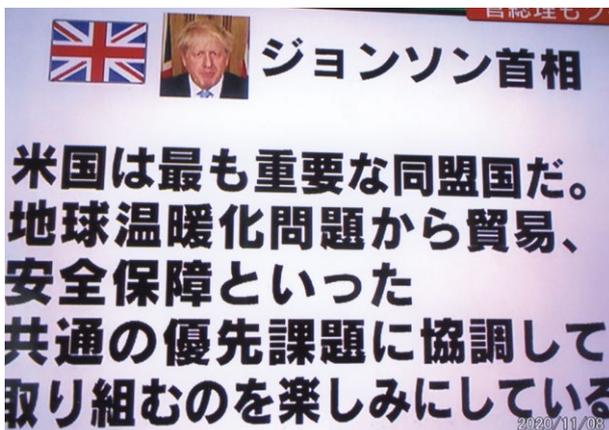
※米国は最も重要な同盟国だ。地球温暖化問題から貿易、安全保障といった共通の優先課題に協調して取り組むのを楽しみにしている。

No4 フランス・マクロン大統領

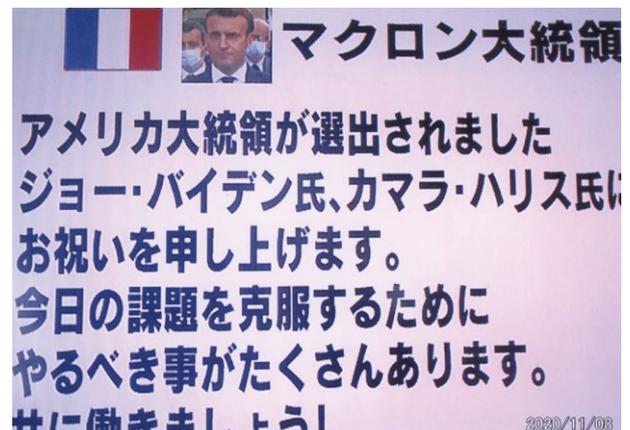
※アメリカ大統領が選出されました。ジョー・バイデン氏、カマラ・ハリス氏にお祝いを申し上げます。今日の課題を克服するためにあるべき事がたくさんあります。共に働きましょう。



カナダのトルドー首相の文面



英国、ジョンソン首相の文面

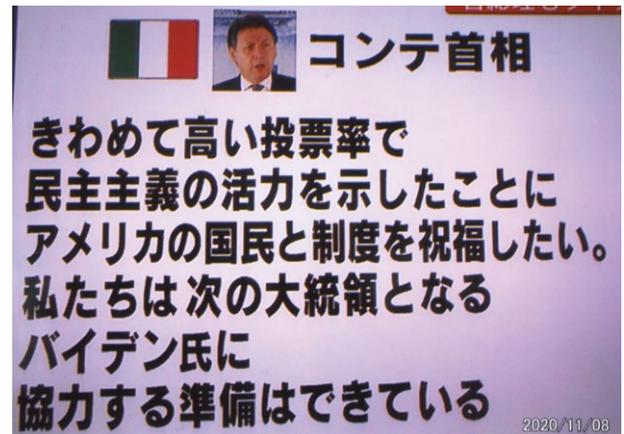


フランス、マクロン大統領の文面

No5 EU・フォンデア・ライエン委員長

No6 イタリア・コンテ首相より

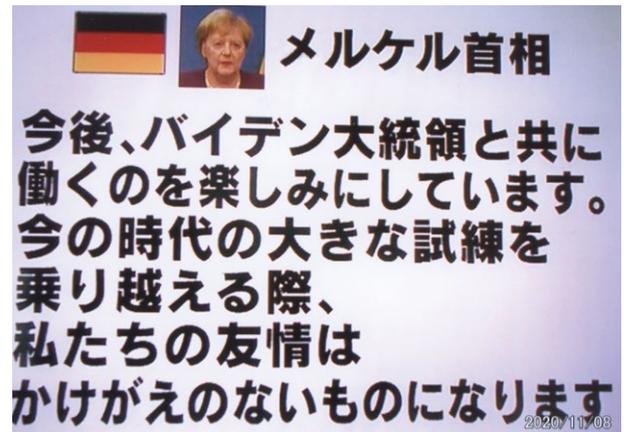
※きわめて高い投票率で民主主義の活力を示したことにアメリカの国民と制度を祝福したい。私たちは次の大統領になるバイデン氏に協力する準備はできている。



イタリア、コンテ首相の文面

No7 ドイツ・メルケル首相

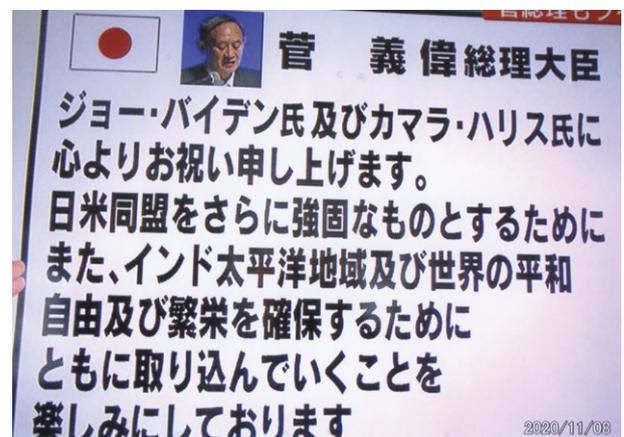
※今後、バイデン大統領と共に働くのを楽しみにしています。今の時代の大きな試練を乗り越える際、私たちの友情はかけがえのないものになります。



ドイツのメルケル首相の文面

No8 日本・菅義偉総理大臣

※ジョー・バイデン氏及びカマラ・ハリス氏に心よりお祝い申し上げます。日米同盟をさらに強固なものとするために、またインド太平洋地域及び世界の平和自由及び繁栄を確保するためにも取り組んでいくことを楽しみにしております。



菅総理の文面

No9 韓国・文大統領

そして、2020年11月12日午前中、米大統領選で当選確実にしたバイデン次期大統領と我が国の菅首相が初めて直接電話で協議した様子を記している。

バイデン氏に祝意を伝え、日米同盟の重要性について確認したという。また首相は、米国の日本防衛義務について定めた日米安保条約5条が、沖縄県の尖閣諸島に適用されることを確約する旨の表明がバイデン氏からあったという。

電話協議は約15分行われた。首相は協議後、首相官邸で記者団に「日米同盟は厳しさを増す我が国周辺、国際社会の平和と繁栄にとって不可欠で、一層の強化が必要だ」とバイデン氏に伝えたことを明らかにした。

新型コロナウイルス感染症対策や気候変動問題などの国際的な課題で、両国が協力することで一致した。首相は拉致問題への協力を求めた。バイデン氏は「日米同盟の強化、インド太平洋地域の平和と安定に向けて協力していくことを楽しみにしている」と述べたという。

こんなことが書かれていた。

新型コロナ大蔓延の中（2020年10月31日・2020年11月29日）の世界の感染者と死者数

	2020年10月31日		2020年11月28日	
	感染者数	死者数	感染者数	死者数
世界全体計	4,560万8,024人	118万9,139人	6,167万0,978人	144万2,921人
1 米 国	904万7,427人	22万9,708人	1,309万1,758人	26万4,859人
2 イ ン ド	813万7,119人	12万1,641人	935万1,109人	13万6,200人
3 ブ ラ ジ ル	551万6,658人	15万9,477人	623万8,530人	17万1,974人
4 ロ シ ア	158万8,433人	2万7,462人	219万6,691人	3万8,175人
5 フ ラ ン ス	137万7,347人	3万6,605人	224万8,209人	5万1,999人
6 フィリピン	37万8,933人	7,185人	42万5,918人	8,255人
7 中 国	9万1,339人	4,739人	9万2,586人	4,742人
8 韓 国	2万6,511人	464人	3万3,375人	522人
9 日 本	10万0,450人	1,756人	14万2,778人	2,028人

※米ジョンズ・ホプキンス大学の集計で朝日新聞から記載する。

数字でもわかるように1ヶ月弱で世界の感染者は1,607万人増えて、死者26万人増えている。米国は、2020年11月28日で1,309万人になり、なんとこの1ヶ月間で405万人増えている、大変な数字であるが日本もこの1ヶ月間で4万2千人増えた。まだまだ、感染者増の勢いは止まりそうにない。早く「ワクチン」の普及が待たれるところである。

世界が新型コロナ大蔓延の中、世界情勢も不安定になり、大変不安な世の中になった。

今こそ、全世界の治安を守り、リーダーシップのとれるアメリカの新大統領になられるよう大いに期待したいところである。

参考資料

日経新聞

朝日新聞

NHKテレビ

2020年11月29日記